

藤本壮介

Sou Fujimoto

1971- 日本

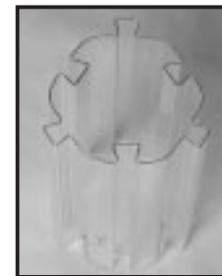
建築家。2000年に行われた青森県立美術館設計コンペティションで注目を集めた。時代を先取りする新しさではなく、普遍的で本質的なかたちを求めて、自然界に見られるような多様性や複雑性の再構築を試みる。

1971 - Japan

Architect. He achieved attention at the design competition for the Aomori Museum of Art implemented in 2000. He seeks the ubiquitous and fundamental shape instead of novelty ahead of the time, and attempts to reconstruct the diversity and complexity seen in the natural world.

藤本壮介

藤本壮介展で制作した
ポリカーボネートの押出材
2010年
ポリカーボネート



Sou Fujimoto

polycarbonate extrusion created for “Sou Fujimoto Architects-Future Visions.

Forest Cloud, Mountain”

2010

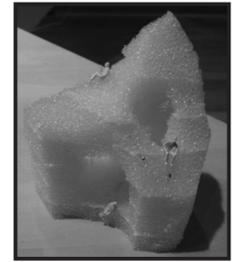
polycarbonate

<藤本壮介展「山のような建築 雲のような建築 森のような建築」建築と東京の未来を考える
2010 2010年8月14日～2011年1月16日より>
藤本壮介は2階の吹き抜け空間に展示する1/1スケールの建築空間を、ポリカーボネートの透明樹脂によるパイプの集合体により制作した。このパイプは樹脂を押し出し機にかけ中空型に成形したもので、パズルのピースのような嵌め合いのみの接合によって、床、壁、天井が一体の構造体となった。パイプの集合密度によって、内部と外部の距離が常に変化し、明確な境界のない、

空気のような層をつくる建築を提案し、来場者はその建築コンセプトを実際に体験することができた。

藤本壮介
雲のような未来の住宅
2010年

Sou Fujimoto
Cloud-like House of the Future
2010



藤本壮介
Primitive Future House
2001年

Sou Fujimoto
Primitive Future House
2001

